

初任者研修

～旭川医科大学病院の組織の一員として出発～

旭川医科大学病院では、新任者68名を迎え入れ、8日間の日程で初任者研修を行いました。

今年度はCOVID-19感染拡大予防の観点から、密集、密室、密接を避け、定期的に換気を行ったり、新任者全員の体調確認を毎日実施するなど、細心の注意を払いながら実施しました。研修では、病院長や看護部長をはじめ、各部門の部門長、副部門長、担当者から病院の理念や組織の概要に関する講義があり、社会人としてだけでなく、医療人、組織の一員としての自覚醸成の機会となりました。



病院長、看護部長からの講義の様子

配置部署師長の紹介

1人1人が自己紹介をし、それぞれの部署の看護師長と初めて対面しました。



医療安全について

フルネーム確認、ダブルチェック、キョクイファイナルチェックの重要性を学んでいました。コミュニケーションエラー防止のための指示・伝達のルールやチェックバックについて学びました。



薬剤の作用と取扱い

麻薬や毒薬・劇薬、抗がん剤などの取り扱いに注意を要する薬剤の保管方法や破棄の仕方について学びました。



操作研修

病院情報システムの基本的操作に加えて、院内規定やマニュアルの見方についても学びました。



手指衛生の演習

感染対策の基本となる手指衛生の正しい手順について確認しました。ゴミの分別に関しても合わせて学びました。